

8月21日(日)、広島県呉市の市民公園『呉ポートピアパーク』にて、「呉市民の花・椿」にちなんで椿油を使ったポップコーンを実演販売して義援金を集めました。丁度この日の会場は、某民放が徹夜で同様の義援金募集を受け付ける会場の一つになっていることから、我々は、そのイベントの思いに共感し参加しました。昨年の実績ではこの会場に4500名程度の来場があったとのことでしたので大いに期待して準備をしていました。私たちはポップコーンを販売するだけではなく、折角の機会なので、園芸福祉のこともPRすることにしました。しかし、当日8時過ぎに会場に着くと、朝から小雨がパラついて肌寒い天気となり不吉な予感がしました。テントを仲間たちと張って、ポップコーンや園芸福祉関係の展示をし終わる頃から雨脚が強くなり、空も真っ黒になり、テントに雨の音が強く響き、用意したポスターや展示物が土砂ぶりの雨でずぶ濡れになってしまいました。初めは「大雨注意報が出た。」という情報が伝わり、しばらくすると今度は「大雨警報が出たそうだ。」に変わり、立て続けに「JR呉線が止まった。」「土砂災害注意報が出た。」と絶望的な情報ばかりで、私たちもテントの中で小さく固まって「これでは来場者は少ないね～」と悲しい話をしていました。

それでも、午前中は周りの他のイベントグループの方たちや仲間が紙コップ1杯50円のポップコーンを買ってくれて、少しは気持ちが和らぎました。しかし、このような状況の中でも、植える美・ing・くれ他の私たちスタッフ9名(男性7名、女性2名)はお互いの園芸福祉活動自慢を楽しく語っていました。園芸の話がこのような状況でも盛り上がるとはとても信じられませんでした。逆に、このような状況になったことがお互いの絆を強めあったのではないかと思います。

お昼を過ぎるころから、なんと、今度は西の空に青空が見え始めました！！



嵐が去って青空が見え始めて少し希望が持てそうだと思えた時は本当にうれしかったです。その後、順調に天候も回復して来場者も徐々に増え始めました。

おかげさまで、100杯の売り上げを達成することができました。(予定では300杯を目標にしていました。)

また、日本園芸福祉普及協会作成のチラシ“はじめてみよう園芸福祉”を来場者に配ったり、展示品を興味深く見ていただくことができました。寄付は3000円と仲間のDさんの個人寄付1000円を足して受付で手渡しました。偶然ですが、自然の急変とその回復に被災者の方々のお気持ちの一端を強く気づかせられた一日となりました。義援金の大小よりも仲間と久しぶりに会えたことと、自然のどうしようもない猛威と、また、青空を見た時に持てた希望に気づかせられたことが一番の収穫でした。

